PC98-NXシリーズ

NEC

Mate

スリムタワー型、省スペース型、ミニタワー型
(Windows XP Professional/
Windows 2000 Professionalセレクタブルモデル)

はじめにお読みください

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
梱包箱を開けたら、まず本書の手順通り操作してください。

本機ではWindows XP Professional(以降、Windows XP)、またはWindows 2000 Professional(以降、Windows 2000)のいずれかのオペレーティングシステム1つを使用できます。はじめて本機の電源を入れたときに、使用するオペレーティングシステムを選択してください。選択しなかったオペレーティングシステムをご利用になる場合は、ライセンス取得のため別途オペレーティングシステムをご購入していただく必要があります。

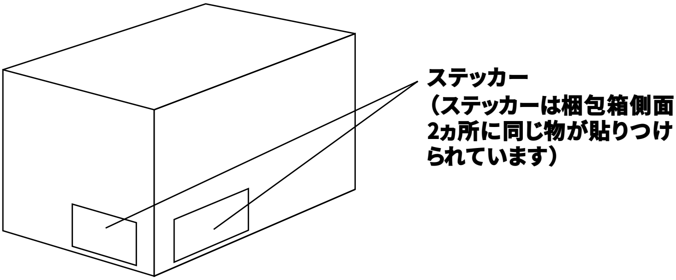
なお、本書に記載のイラストはモデルにより異なります。

操作の流れ

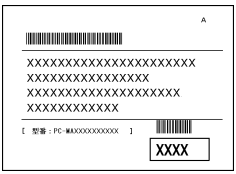
1 添付品の確認

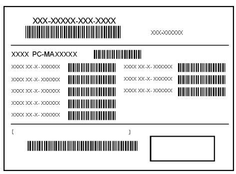
型番を控える

梱包箱のステッカーに記載されている15桁の型番(以降、スマートセレクション型番と呼びます)、またはフリーセレクション型番(フレーム型番とコンフィグオプション型番)を、このマニュアルに控えておきます。型番は添付品の確認や、再セットアップをするときに必要になりますので、必ず控えておくようにしてください。



フリーセレクション型番の場合は、型番を控えておかないと、梱包箱をなくした場合に再セットアップに必要な情報が手元に残りません。



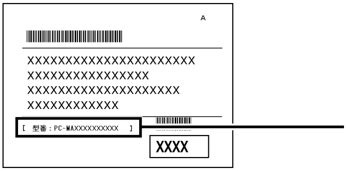


左が「スマートセレクション型番」、右が「フリーセレクション型番」のステッカーです。
スマートセレクション型番のステッカーの場合は、「1.スマートセレクション型番を控える」へ、フリーセレクション型番のステッカーの場合は、P.6「2.フリーセレクション型番を控える」へ進んでください。

1.スマートセレクション型番を控える

スマートセレクション型番を控えます。控え終わったら、P.10「添付品を確認する」へ進んでください。

❶スマートセレクション型番を次の枠に控える



①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧

PC-MA□□□□□□□□A

□の意味は次の通りです。

①CPUのクロック周波数を表しています。

✓	型　番	クロック周波数
	12	1.2 GHz
	13	1.33 GHz
	14	1.4 GHz
	17	1.7 GHz
	18	1.8 GHz
	20	2A GHz
	24	2.4 GHz

②CPUの種類を表しています。

✓	型　番	CPUの種類
	HまたはX	インテル® Celeron™ プロセッサ
	SまたはV	インテル® Pentium® 4 プロセッサ
	T	インテル® Pentium® III プロセッサ

③本体の型を表しています。

✓	型　番	本体の型
	D	スリムタワー型
	EまたはL	省スペース型
	M	ミニタワー型

④ディスプレイのあるなし、または種類を表しています。

✓	型　番	ディスプレイの種類
	A	DV17D5
	C	FE991SB
	J	F17R11
	M	F15T52
	S	F15R52
	T	F15R53-DV
	V	F15T53-DV
	W	DV15A5
	Z	なし

⑤選択アプリケーションのあるなし、または種類を表しています。

✓	型　番	選択アプリケーションの種類
	E	なし
	F	Office XP Personal
	G	Office XP Professional

⑥FDDのあるなし、CD-ROMまたはCD-R/RW、キーボードの種類を表しています。

<table>
<tr><th>✓</th><th>型番</th><th>FDD</th><th>CD-ROMまたはCD-R/RW</th><th>キーボードの種類</th></tr>
<tr><td></td><td>2</td><td>なし</td><td>CD-ROM</td><td rowspan="2">PS/2 109キーボード</td></tr>
<tr><td></td><td>6</td><td rowspan="3">FDD</td><td>CD-R/RW</td></tr>
<tr><td></td><td>A</td><td>CD-ROM</td><td>ﾃﾝｷｰ付PS/2小型キーボード（縦置き収納型）</td></tr>
<tr><td></td><td>B</td><td>CD-R/RW</td><td rowspan="3">USB 109キーボード</td></tr>
<tr><td></td><td>C</td><td rowspan="2">なし</td><td>CD-ROM</td></tr>
<tr><td></td><td>G</td><td rowspan="3">CD-R/RW</td></tr>
<tr><td></td><td>J</td><td>FDD</td><td>ﾃﾝｷｰ付PS/2小型キーボード（縦置き収納型）</td></tr>
<tr><td></td><td>L</td><td>なし</td><td>PS/2 109キーボード</td></tr>
<tr><td></td><td>M</td><td rowspan="2">FDD</td><td rowspan="2">CD-ROM</td><td>USB 109キーボード</td></tr>
<tr><td></td><td>T</td><td>PS/2 109キーボード</td></tr>
<tr><td></td><td>U</td><td rowspan="2">なし</td><td>CD-R/RW</td><td rowspan="2">ﾃﾝｷｰ付PS/2小型キーボード（縦置き収納型）</td></tr>
<tr><td></td><td>X</td><td>CD-ROM</td></tr>
</table>

⑦合計メモリの容量、通信機能の種類、グラフィックアクセラレータの種類を表しています。

✓	型番	合計メモリ容量	通信機能の種類	グラフィックアクセラレータの種類　注意1	
				スリムタワー型	省スペース型
	5	512MB	LAN	GeForce2MX	GeForce2MX
	6		FAXモデム	—	
	8	1GB	LAN	GeForce2MX	
	9			GeForce2MX200　注意2	チップセットに内蔵
	D	128MB		GeForce2MX	GeForce2MX
	E	256MB			
	H	128MB		GeForce2MX200　注意2	チップセットに内蔵
	J	256MB			
	M	512MB			
	R	128MB	FAXモデム	—	
	S	256MB			
	W	128MB			GeForce2MX
	X	512MB			チップセットに内蔵
	Y	256MB			GeForce2MX

注意1 グラフィックアクセラレータの種類は、スリムタワー型、省スペース型に設定されたメニューです。ミニタワー型には設定されていません。

注意2 GeForce2 MX200を選択したスリムタワー型の場合、デジタル液晶ディスプレイは利用できません。

⑧ハードディスクの容量、筐体アクセントカラーの種類を表しています。

✓	型番	ハードディスクの容量	増設ハードディスクの容量	筐体アクセントカラーの種類　注意
	5	20GB	40GB	スモーク
	7		40GB+StandbyDisk	
	8		60GB	
	9		60GB+StandbyDisk	
	B	40GB	なし	
	C		40GB	
	D		40GB+StandbyDisk	
	E		なし	パウダーホワイト
	F	20GB		スモーク
	H	40GB	60GB	
	J	60GB	なし	
	L	40GB	60GB+StandbyDisk	
	N	60GB	40GB	
	S		60GB	
	T		60GB+StandbyDisk	
	U	20GB	なし	パウダーホワイト
	W	60GB		

注意　筐体アクセントカラーの種類は、省スペース型に設定されたメニューです。スリムタワー型、ミニタワー型には設定されていません。

※上記の①～⑧のすべての組み合わせが実現できているわけではありません。

次にP.10「添付品を確認する」へ進んでください。

2.フリーセレクション型番を控える

フレーム型番とコンフィグオプション型番を控えます。控え終わったら、**P.10「添付品を確認する」へ進んでください。**

❶フレーム型番を次のチェック表にチェックする



フレーム型番

①　②　③

PC-MA□□□□ZEA

□の意味は次の通りです。

①CPUのクロック周波数を表しています。

✓	型　番	クロック周波数
	12	1.2 GHz
	13	1.33 GHz
	14	1.4 GHz
	17	1.7 GHz
	18	1.8 GHz
	20	2A GHz
	24	2.4 GHz

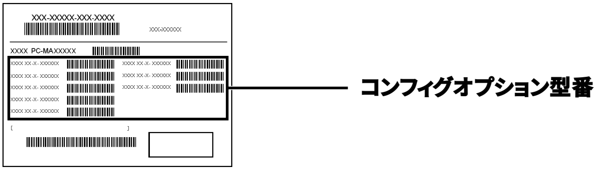
②CPUの種類を表しています。

✓	型　番	CPUの種類
	HまたはX	インテル® Celeron™ プロセッサ
	SまたはV	インテル® Pentium® 4 プロセッサ
	T	インテル® Pentium® III プロセッサ

③本体の型を表しています。

✓	型　番	本体の型
	D	スリムタワー型
	EまたはL	省スペース型
	M	ミニタワー型

❷コンフィグオプション型番を次のチェック表にチェックする



次のコンフィグオプション(以降、COPと略します)型番のうち、①〜④はどのモデルにも必須でステッカーには必ず記載されています(選択必須COP)。⑤〜⑬は選択したモデルやオプションによってステッカーに記載されます(選択必須COPおよび任意選択COP)。また、ステッカーに記載されているCOP型番は順不同になっています。

COP型番に記載されている英数字の意味は次の通りです。

①PC-M-KB□□□5はキーボードの種類を表しています。(選択必須COP)

✓	型　番	キーボードの種類
	10T	テンキー付きPS/2小型キーボード(縦置き収納型)
	10U	テンキー付きUSB小型キーボード
	PS2	PS/2 109キーボード
	USB	USB 109キーボード

②PC-M-1H□□□7は内蔵3.5インチベイに搭載されるハードディスク(プライマリマスタ)の容量を表しています。(選択必須COP)

✓	型　番	ハードディスクの容量
	020	20GB
	040	40GB
	060	60GB
	R40	40GB×2
	R60	60GB×2

③PC-M-ME□□□7は合計メモリの種類と容量を表しています。(選択必須COP)

✓	型　番	合計メモリの種類と容量
	R10	RDRAM　1.0GB　(ECC)
	R13	RDRAM　128MB(64MB×2)　(ECC)
	R26	RDRAM　256MB(128MB×2)　(ECC)
	R51	RDRAM　512MB　(ECC)
	T10	SDRAM　1.0GB(133MHz)
	T12	SDRAM　128MB(133MHz)
	T25	SDRAM　256MB(133MHz)
	T51	SDRAM　512MB(133MHz)
	T52	

④PC-M-CD□□□□はファイルベイ用内蔵機器(セカンダリマスタ)の種類を表しています。(選択必須COP)

✓	型　番	ファイルベイ用内蔵機器の種類
	CDD4	CD-ROM
	CDR7	CD-R/RW
	CDS5	CD-ROM
	CRS6	CD-R/RW
	DCR3	CD-R/RW with DVD-ROM

⑤PC-M-NE□□□5は通信機能の種類、エネルギースター対応を表しています。(省スペース型は選択必須COP、その他はなし)

✓	型　番	通信機能の種類	エネルギースター
	LAW	LAN	対応
	LAY		
	MDE	FAXモデム	

⑥PC-M-AC□□□3は筐体アクセントカラーの種類を表しています。(省スペース型は選択必須COP、その他はなし)

✓	型　番	筐体アクセントカラーの種類
	BKE	スモーク
	BLE	パウダーバイオレット
	GRE	パウダーグリーン
	MWE	パウダーホワイト
	REE	パウダーレッド

⑦DV□□□□-M、F□□□□□□□-Mはディスプレイの種類を表しています。(任意選択COP)

✓	型　番	ディスプレイの種類
	DV15A5	DV15A5-M
	DV17D5	DV17D5-M
	F15R52	F15-R52-M
	F15R53-DV	F15R53-DV-M
	F15T52	F15-T52-M
	F15T53-DV	F15T53-DV-M
	F17R11	F17R11-M
	FE991SB	FE991SB-M

注意　ディスプレイの箱、保証書、銘板、添付のマニュアルには「-M」が書かれていませんが、同じ商品です。

⑧PC-M-AP□□□5は選択アプリケーションの種類を表しています。（任意選択COP）

✓	型　番	選択アプリケーションの種類
	MPE	Office XP Professional
	MSE	Office XP Personal

⑨PC-M-2H□□□7は内蔵3.5インチベイに搭載される、増設ハードディスク（プライマリスレーブ）の容量を表しています。（省スペース型、およびミニタワー型は任意選択COP、その他はなし）

✓	型　番	増設ハードディスクの容量
	040	40GB
	060	60GB
	E40	40GB（StandbyDiskあり）
	E60	60GB（StandbyDiskあり）

⑩PC-M-GR□□□□はグラフィックアクセラレータを表しています。（スリムタワー型は選択必須COP、省スペース型は任意選択COP、その他はなし）

✓	型　番	グラフィックアクセラレータ
	GE21	GeForce2 MX200 注意
	GEM2	GeForce2 MX
	GEX1	

注意　GeForce2 MX200を選択したスリムタワー型の場合、デジタル液晶ディスプレイは利用できません。

⑪PC-M-SU□□□1-Sは保守パックの種類を表しています。（任意選択COP）

✓	型　番	保守パックの種類
	101	PC98-NX Series Support Pack 3年間保守
	102	PC98-NX Series Support Pack 4年間保守
	103	PC98-NX Series Support Pack 3年間保守（ディスプレイなし）
	104	PC98-NX Series Support Pack 4年間保守（ディスプレイなし）

⑫PC-M-FH□□□2は内蔵3.5インチベイに搭載される、増設ハードディスク（プライマリスレーブ）の容量、またはFDDを表しています。（スリムタワー型は選択必須、その他はなし）

✓	型　番	増設ハードディスクの容量、またはFDD
	FDD	FDD
	040	40GB
	060	60GB
	E40	40GB（StandbyDiskあり）
	E60	60GB（StandbyDiskあり）
	RAD	RAID1

⑬PC-M-SP□□□1はバックアップ媒体を表しています。(任意選択COP)

✓	型　番	バックアップ媒体
	BCX	バックアップ媒体

添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリストを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

梱包箱や添付品収納箱には、このチェックリストに記載されていない注意書きの紙などが入っている場合があります。

❶箱の中身を確認する

P.3 ❶またはP.6 ❶、P.7❷の型番を参照すると、よりわかりやすくなります。

□保証書(本体梱包箱に貼り付けられています)

保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元またはNECにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

□はじめにお読みください(このマニュアルです)

□本体(ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まないMateを指します)

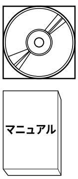
□PC98-NX Series Support Pack
(保守パックを選択した場合添付されています)

□添付品収納箱

□キーボード

□マウス

1つにパックされています。



□選択アプリケーション

Microsoft® Office XP Personal、またはMicrosoft® Office XP Professional

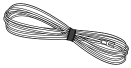
添付品は、選択アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。

(P.4❶-⑤、またはP.9❷-⑧で選択アプリケーションの種類がわかります)

❷添付品収納箱の中身を確認する

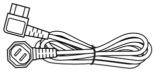
は、各々1つにパックされています。

□アース線



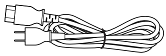
スリムタワー型、省スペース型の場合添付

□サービスコンセント付き電源ケーブル



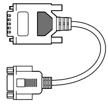
ミニタワー型の場合添付

□電源ケーブル



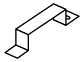
GeForce2 MXを選択したスリムタワー型、省スペース型、およびMA18S/Mの場合添付

□DVI-アナログ変換ケーブル



スリムタワー型、省スペース型の場合添付

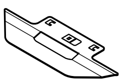
□ケーブルストッパ

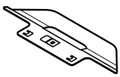


□ネジ（1個）

スリムタワー型、省スペース型の場合添付

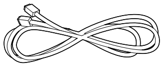
□スタビライザ（2個）





通信機能の種類がFAXモデムの場合添付

□モジュラーケーブル

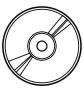




□お客様登録申込書
□安全にお使いいただくために
□活用ガイド　再セットアップ編
□NEC PCあんしんサポートガイド



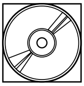
□Microsoft® Windows® XP Professional ファーストステップガイド／
Microsoft® Windows® 2000 Professional クイックスタートガイド





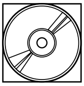
□ソフトウェアのご使用条件／ソフトウェア使用条件適用一覧
（箱の中身を確認後必ずお読みください）
□アプリケーションCD-ROM／マニュアルCD-ROM

バックアップ媒体を選択した場合添付



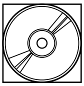
□再セットアップ用CD-ROM

ファイルベイ用内蔵機器の種類がCD-R/RWの場合添付



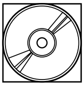
□RecordNow DX/DLA CD-ROM

ファイルベイ用内蔵機器の種類がCD-R/RW with DVD-ROMの場合添付



□Jet-Audio Player CD-ROM/RecordNow DX/DLA CD-ROM

増設ハードディスク(StandbyDiskあり)を選択した場合添付



□StandbyDisk 2000-XP Pro 日本語版 CD-ROM
□ユーザー登録書(シリアル番号の記載があります)

❸ディスプレイがセットになったモデルの場合、ディスプレイの箱の中身については、ディスプレイの箱の中のマニュアルで確認する

(P.4 ❶-④またはP.8 ❷-⑦でディスプレイのあるなし、種類がわかります。)

❹本体にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致していることを確認する

PC-MA XXX…XX

万一違っているときは、すぐにご購入元に連絡してください。また保証書は大切に保管しておいてください。
なお、フリーセレクション型番の場合は、フレーム型番のみが表示されています。

以上で添付品の確認は完了です。
次のページの「2 設置場所の決定」へ進んでください。

2 設置場所の決定

設置場所を決める

⚠ 安全に関するご注意



添付の『安全にお使いいただくために』をよくお読みの上、注意事項を守って正しくお使いください。

感電注意

●電源はAC100V(50/60Hz)を使用してください。

発火注意

●電源ケーブルの上に、ものを載せないでください。

●電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。

●電源ケーブルの付け根部分を無理に曲げないでください。

けが注意

●ケーブル類は、つまずかないように整理してください。

◯ 設置に適した場所

設置に適した場所は次のような場所です。

◆屋内

◆温度10℃〜35℃
　湿度20%〜80%
　(ただし結露しないこと)

◆平らで十分な強度があり、落下のおそれがない
　(机の上など)

✕ 設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機(本体とキーボードなどを含んだMateを指します)の故障や破損の原因となります。

◆磁気を発生するもの(扇風機、スピーカなど)や磁気を帯びているものの近く
◆直射日光があたる場所
◆暖房機の近く
◆薬品や液体の近く
◆腐食性ガス(オゾンガスなど)が発生する場所
◆テレビ、ラジオ、コードレス電話、携帯電話、他のディスプレイなどの近く
◆人通りが多くてぶつかる可能性がある場所
◆ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所
◆ホコリが多い場所
◆本体背面および側面にある通風孔がふさがる場所
◆ディスプレイの通風孔がふさがる場所
◆テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

設置場所が決まったら……

設置する場所が決まったら、本機の設置と添付品の接続を行うため、次の点を確認してください。
本機は精密機器ですから、慎重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いをすると、故障や破損の原因となります。
本体およびディスプレイの接続部は、背面にまとまっています。いきなり壁際に本体およびディスプレイを置いてしまうと、うまく接続できません。机などの裏側に回って接続できるような場所を選んでください。
通風孔をふさがないようにできるだけ15cm以上のスペースを確保してください。また、キーボードやマウスが余裕を持って操作できる場所も必要です。

本機を移動するときは……

本機に接続している、すべてのケーブル(電源ケーブル、アース線など)を取り外してください。本機を持ち上げるときは、左右から手を入れて底面を持ってください。また、移動中に壁などにぶつけたりすると故障や破損の原因となりますので、大切に取り扱ってください。

以上で設置場所の決定は完了です。
次のページの「3 添付品の接続」へ進んでください。

3 添付品の接続

接続するときの注意

- **本機を接続するときは、コネクタの端子に触れない**
  故障の原因となります。

ミニタワー型の場合はP.28へ進んでください。

スリムタワー型、省スペース型の場合

1. 設置

本機には、本体を縦置きで使用する場合に、安定して設置するためのスタビライザと言う脚が添付されています。梱包箱から出したままの状態では、スタビライザは本体に取り付けられていません。縦置きで使用する場合は、転倒防止のため、必ず❶か❷のいずれかの方法でスタビライザを取り付けて設置してください。
また、本体を横置きで使用することもできます。この場合、スタビライザをセットする必要はありません。横置きで使用する場合は、ゴム足がある方を下にして設置してください。また、本体の上に約20kgまでのディスプレイなどを置くことができます。なお、ディスプレイや書類などで、通風孔をふさがないでください。

注意

●本体を横置きにして使用する場合、FE991SBは質量が20kgを超えるため、本体の上に置かないでください。

P.17「2.マウス、キーボードを接続する」へ進んでください。

❶スタビライザを2つ取り付ける場合

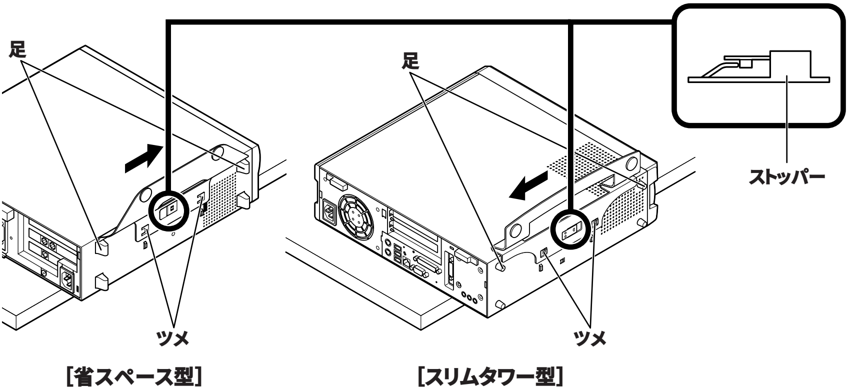
①机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

この場合、机やテーブルなどを傷付けたりしないように、厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

②片方のスタビライザを本体のツメと足に合わせ、スタビライザを矢印方向にストッパがロックされるまでスライドさせる



●スタビライザを本体に取り付けるときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。



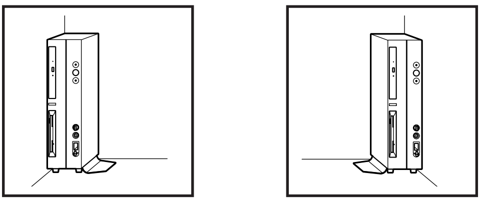
③もう一方のスタビライザも②と同じ方法で取り付ける

❷スタビライザを1つ取り付ける場合

次のように、片側を壁などに付けて縦置きで使用する場合は、壁などと反対側の側面のみにスタビライザを1つ取り付けることで設置することができます。

スリムタワー型の場合、本体の左側に通風孔があるため、壁などでふさがないように設置してください。

P.15「❶スタビライザを2つ取り付ける場合」と同じ方法で1つのみ取り付ける





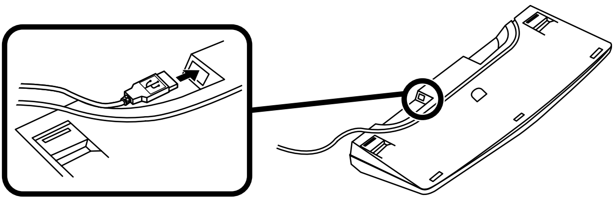
●1つのスタビライザのみをセットする場合は、転倒防止のため、必ず反対側の側面を壁などにつけて使用してください。

2. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより、❶から❸のいずれかで接続してください。

❶USB接続のキーボードを接続する場合(ここではUSB 109キーボードを例に説明します)

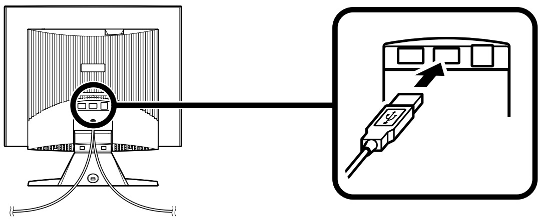
①添付のマウスをキーボードに接続する



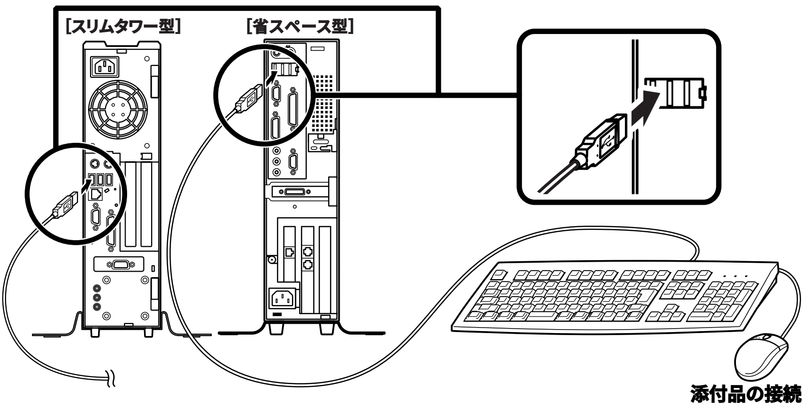
②キーボードを液晶ディスプレイ、または本体のUSBコネクタに接続する

■液晶ディスプレイに接続する場合

ここではディスプレイ(F17R11)がセットになった場合を例に説明します。
液晶ディスプレイの背面にある2つのUSBコネクタの、どちらを使用しても構いません。



■本体(背面)に接続する場合



※ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難やケーブルの抜け防止に役立ちます。
スリムタワー型のケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド』「PART2　周辺機器を利用する（スリムタワー型）」の「ケーブルストッパの取り付け/取り外し」をご覧ください。
省スペース型のケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド』「PART3　周辺機器を利用する（省スペース型）」の「ケーブルストッパの取り付け/取り外し」をご覧ください。

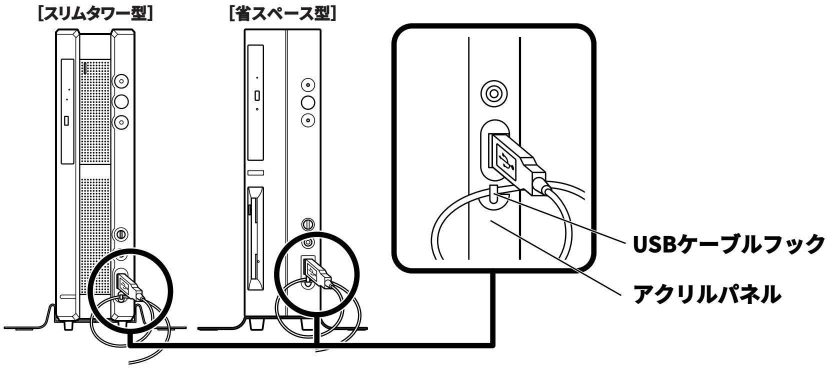
■本体（前面）に接続する場合

USBケーブルフックにキーボードのケーブルを引っ掛けてから、USBコネクタに接続する

※USBケーブルフックを利用すると、USBケーブルの抜け防止に役立ちます。

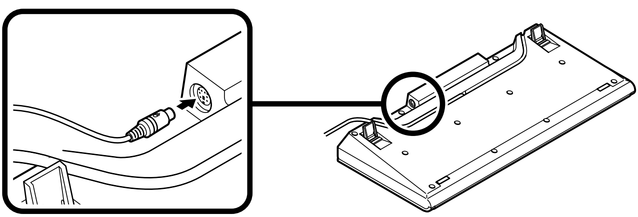
注意

●アクリルパネルやUSBケーブルフックは、誤ってキーボードのケーブルを強く引くと過度の力がかかり、破損する場合があります。

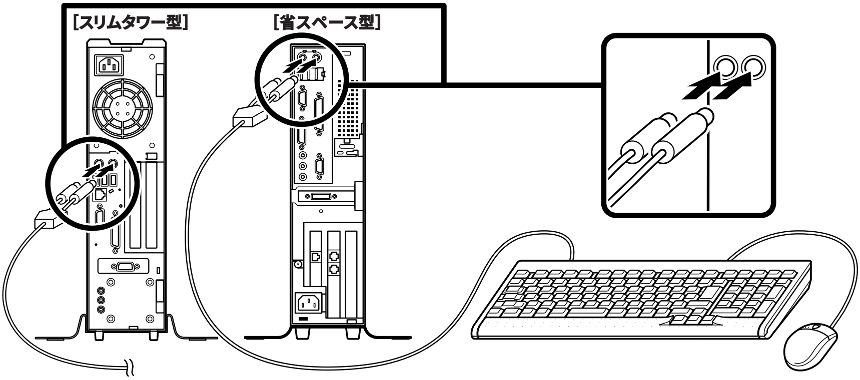


❷PS/2接続のキーボードを接続する場合（ここではテンキー付きPS/2小型キーボード（縦置き収納型）を例に説明します）

①添付のマウスをキーボードに接続する



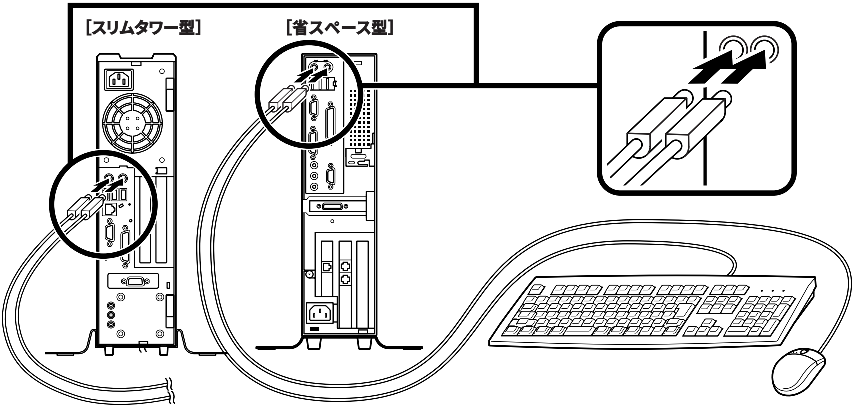
②キーボードから出ているマウス(緑)とキーボード(紫)のケーブルを、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する



※ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難やケーブルの抜け防止に役立ちます。
スリムタワー型のケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド』「PART2　周辺機器を利用する(スリムタワー型)」の「ケーブルストッパの取り付け/取り外し」をご覧ください。
省スペース型のケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド』「PART3　周辺機器を利用する(省スペース型)」の「ケーブルストッパの取り付け/取り外し」をご覧ください。

❸PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではPS/2 109キーボードを例に説明します)

添付のマウス(緑)、キーボード(紫)を、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する



※ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難やケーブルの抜け防止に役立ちます。
スリムタワー型のケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド』「PART2　周辺機器を利用する(スリムタワー型)」の「ケーブルストッパの取り付け/取り外し」をご覧ください。
省スペース型のケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド』「PART3　周辺機器を利用する(省スペース型)」の「ケーブルストッパの取り付け/取り外し」をご覧ください。

3.ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより、次の❶か❷のいずれかの方法で接続してください。ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあり、接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

❶アナログ液晶ディスプレイ、またはCRTディスプレイを接続する場合

ここでは、ディスプレイ（F17R11）がセットになった場合を例に説明します。

GeForce2 MXを選択したスリムタワー型および省スペース型の場合は、①〜⑤の順番に接続してください。

GeForce2 MX200を選択したスリムタワー型およびGeForce2 MXを選択しない省スペース型の場合は、③〜⑤の順番に接続してください。

①ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネクタを、添付されているDVI-アナログ変換ケーブルのコネクタに接続する

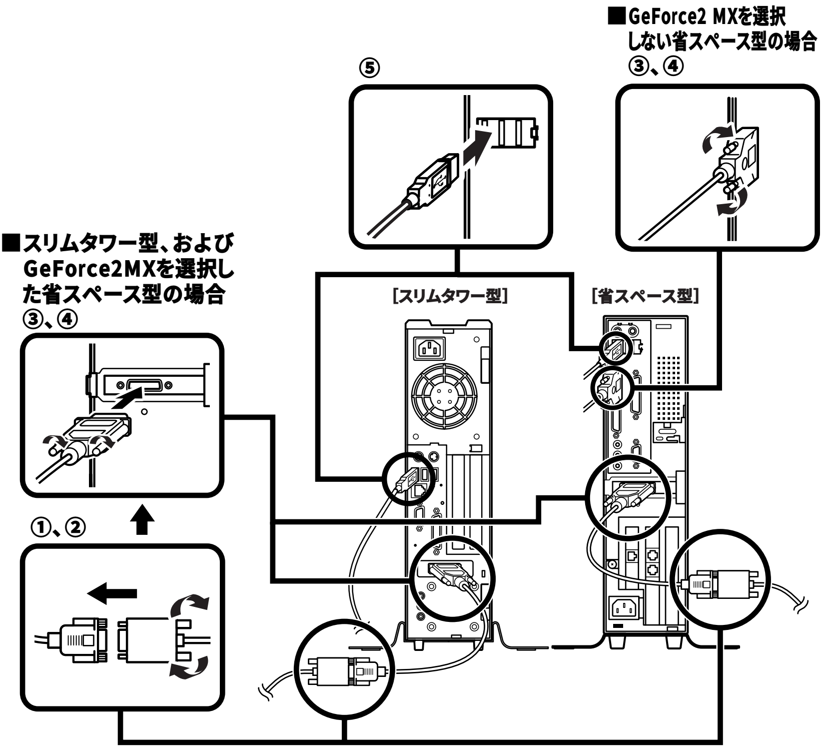
②ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

③GeForce2 MX200を選択したスリムタワー型の場合は、ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネクタを、アイコン（）とコネクタの形状を確認し、本体のアナログRGBコネクタに接続する
GeForce2 MXを選択したスリムタワー型および省スペース型の場合は、DVI-アナログ変換ケーブルのもう一方のアイコン（）とコネクタの形状を確認し、本体のデジタルRGBコネクタに接続する
GeForce2 MXを選択しない省スペース型の場合は、ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネクタを、アイコン（）とコネクタの形状を確認し、本体のアナログRGBコネクタに接続する

④DVI-アナログ変換ケーブルのコネクタ、またはビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

⑤アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに、本体とアナログ液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。



❷デジタル液晶ディスプレイを接続する場合

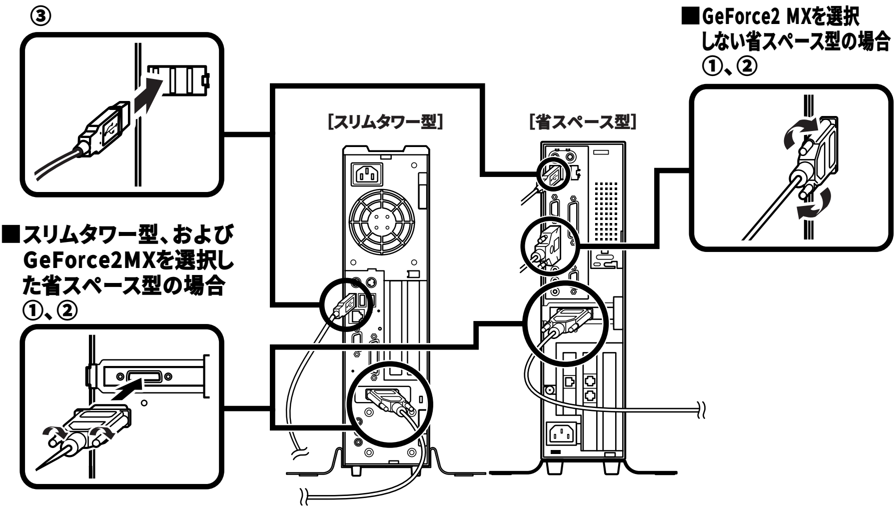
ここでは、ディスプレイ（F15R53-DV）がセットになった場合を例に説明します。

①GeForce2 MXを選択したスリムタワー型および省スペース型の場合、ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネクタをアイコン（⎍）と、コネクタの形状を確認し、本体のデジタルRGBコネクタ（DVI-I）に接続する
GeForce2 MXを選択しない省スペース型の場合、ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネクタをアイコン（⎍）とコネクタの形状を確認し、本体のデジタルRGBコネクタ（DVI-D）に接続する

②ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジでしっかりネジ止めする

③本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。



4. リンクケーブル(別売)またはモジュラーケーブルを接続する

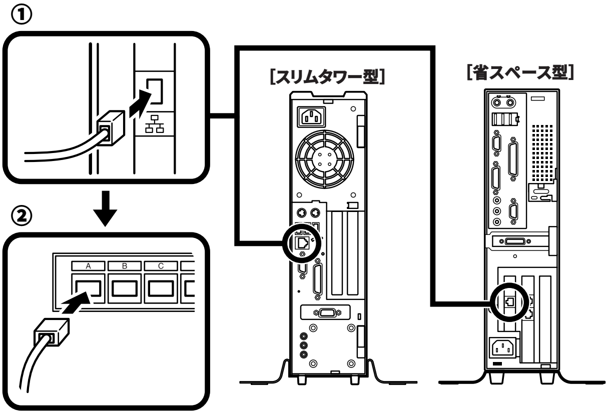
必要に応じて次の接続を行ってください。
LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブル(別売)を使い、❶の手順で接続します。
FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、❷の手順で接続します。

❶リンクケーブル(別売)を接続する場合

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

①リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン(品)に従って接続する

②マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコネクタを接続する



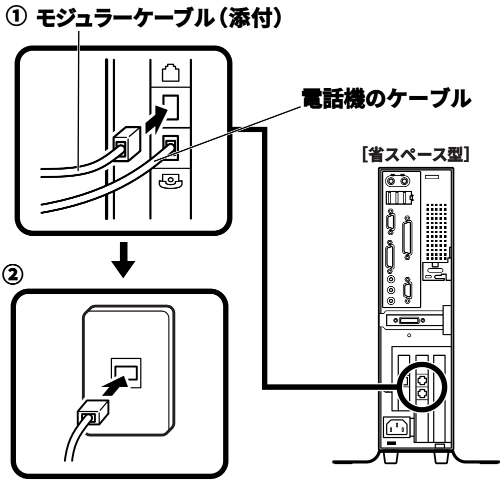
❷モジュラーケーブルを接続する場合

- 端末機器の設計についての認証(技術基準適合認定)は電話回線で受けています。
- FAXモデムボードに接続できる電話回線は2線式のみです。電話機の種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。
- FAXモデムボードの詳細については、セットアップ完了後に『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型、省スペース型、ミニタワー型、マイクロタワー型』「PART1　本体の構成各部」の「FAXモデムボード」をご覧ください。

①電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン()に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネクタを本体のアイコン()に従って接続する

②モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネクタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使うことができます。



5. アース線、電源ケーブルを接続する

安全に関するご注意

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コンセントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店などにご相談ください。



●アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、火災の原因となります。



●アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。

◆アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があります。

◆アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑音が入る場合があります。

本機に添付のサービスコンセント付き電源ケーブルをご使用になる前に、次の注意事項をよく読んでから接続してください。

発火注意

●サービスコンセントには、ディスプレイの電源ケーブル以外は接続しないでください。サービスコンセントで供給できる電源の容量は3Aまでです。消費電力の大きな機器などを接続すると、火災の原因となります。

発火注意

●サービスコンセントにテーブルタップを接続するなどのタコ足配線をしないでください。

次のページのイラストを見て❶〜❸の順番に接続してください。

❶アース線を接続する

①本体のアース端子にアース線をネジ止めする

②コンセントのアース端子にアース線を接続する

❷ディスプレイの電源ケーブルのプラグをサービスコンセント付き電源ケーブルに差し込む

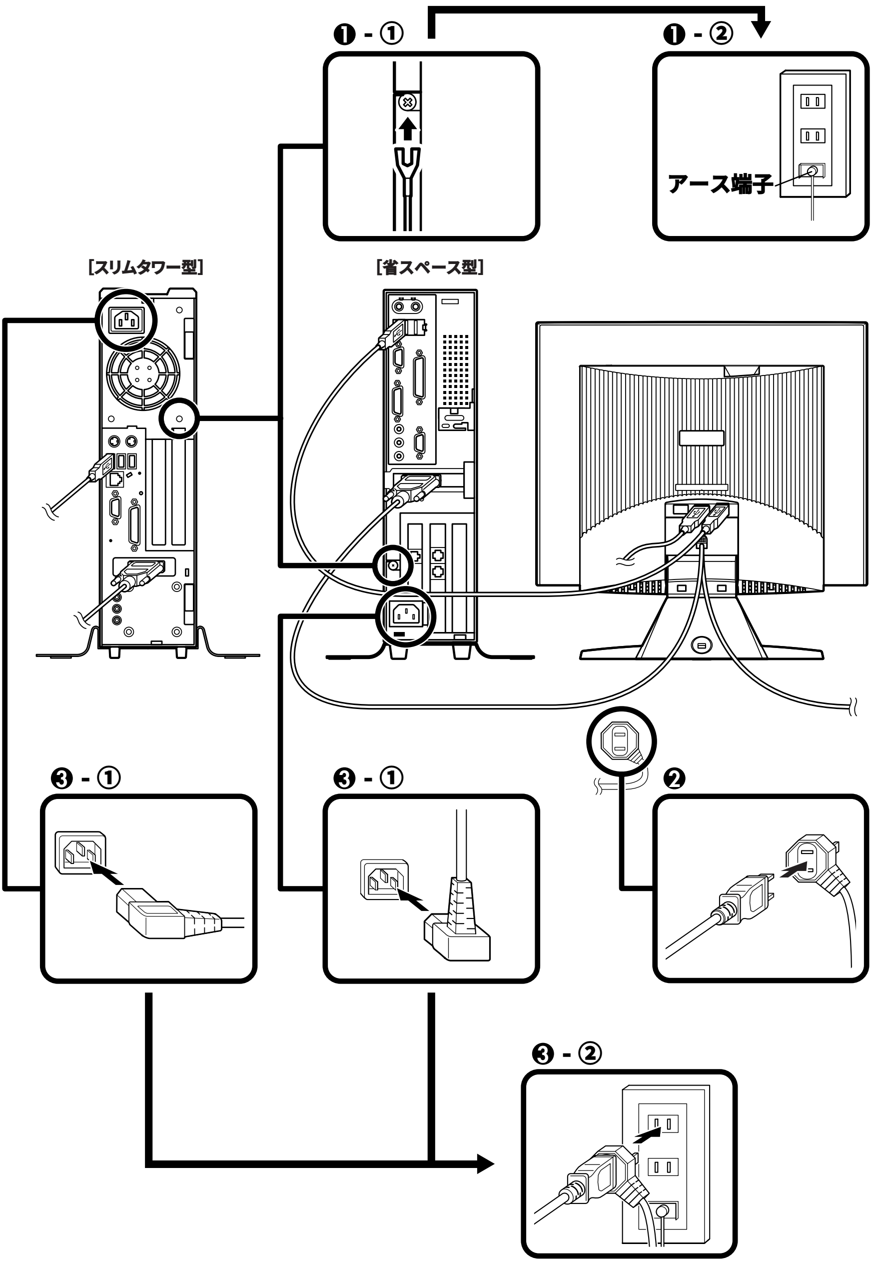
次のページのイラストはアナログ液晶ディスプレイ(F17R11)がセットになった場合です。ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

❸本体の電源ケーブルを接続する

①本体にサービスコンセント付き電源ケーブルを接続する

②サービスコンセント付き電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。(故障ではありません)



以上で添付品の接続は完了です。
P.36「4 Windowsのセットアップ」へ進んでください。

ミニタワー型の場合

1. 設置

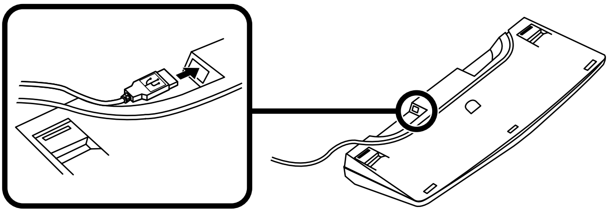
縦置きの場合は、「2.マウス、キーボードを接続する」へ進んでください。
本体を横置きで使用する場合は、ゴム足がある方を下にして設置してください。また、本体の上に約25kgまでのディスプレイなどを置くことができます。本体を横置きにして使用する場合、ファイルベイ用内蔵機器（CD-ROMなど）を入れ替えることで、利用しやすくなります。詳しくは、『ハードウェア拡張ガイド』「PART4　周辺機器を利用する（ミニタワー型）」「ファイルベイ用内蔵機器の取り外し/取り付け」「フロッピーディスク、CD-ROMなどを使いやすくする（横置きに適した向きの変更）」をご覧ください。

2. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより、❶から❸のいずれかで接続してください。

❶USB接続のキーボードを接続する場合（ここではUSB 109キーボードを例に説明します）

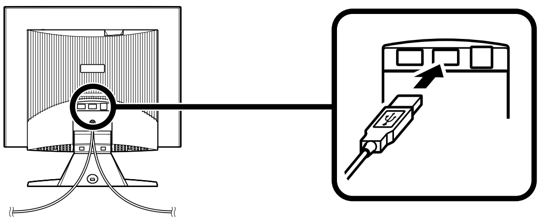
①添付のマウスをキーボードに接続する



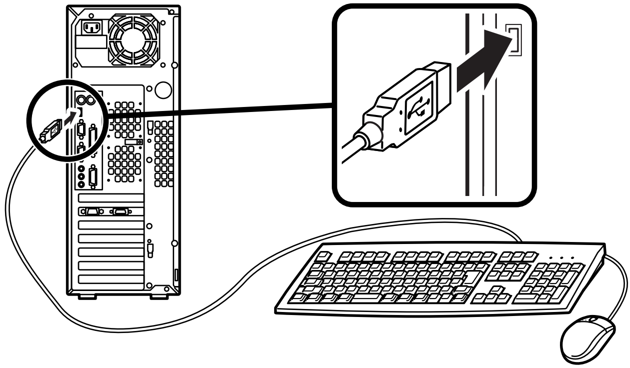
②キーボードを液晶ディスプレイ、または本体のUSBコネクタに接続する

■液晶ディスプレイに接続する場合

ここではディスプレイ（F17R11）がセットになった場合を例に説明します。
液晶ディスプレイの背面にある2つのUSBコネクタの、どちらを使用しても構いません。



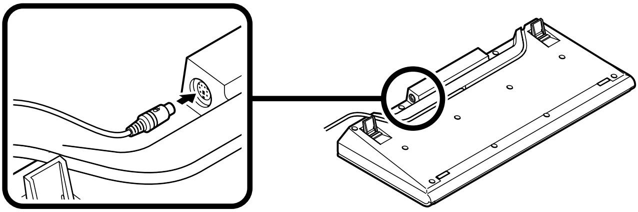
■本体(背面)に接続する場合



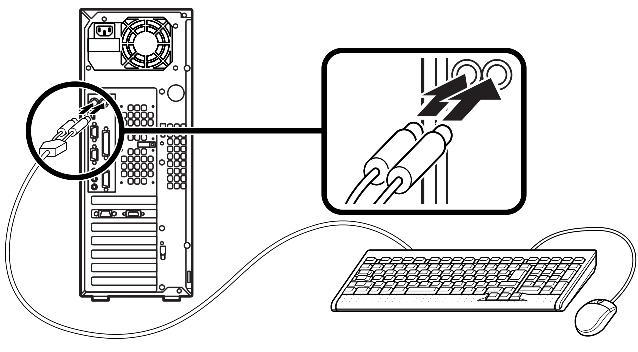
※ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難やケーブルの抜け防止に役立ちます。
ケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド』「PART4　周辺機器を利用する(ミニタワー型)」の「ケーブルストッパの取り外し/取り付け」をご覧ください。

❷PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではテンキー付きPS/2小型キーボード(縦置き収納型)を例に説明します)

①添付のマウスをキーボードに接続する



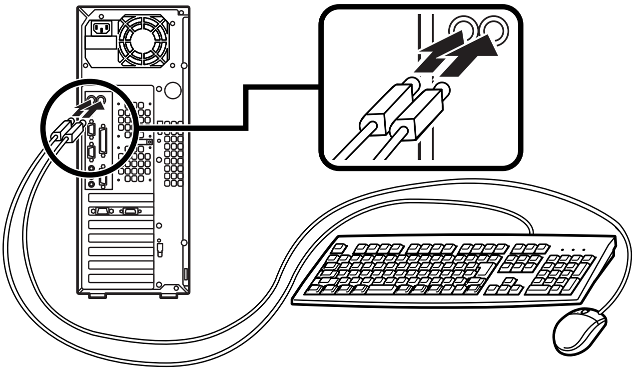
②キーボードから出ているマウス(緑)とキーボード(紫)のケーブルを、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する



※ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難防止に役立ちます。ケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド』「PART4　周辺機器を利用する(ミニタワー型)」の「ケーブルストッパの取り外し/取り付け」をご覧ください。

❸PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではPS/2 109キーボードを例に説明します)

添付のマウス(緑)、キーボード(紫)を本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する



※ケーブルストッパを利用すると、キーボード、マウスの盗難防止に役立ちます。ケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド』「PART4　周辺機器を利用する(ミニタワー型)」の「ケーブルストッパの取り外し/取り付け」をご覧ください。

3. ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより❶または❷のどちらかの方法で接続してください。ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあり、接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

❶CRTディスプレイまたはアナログ液晶ディスプレイを接続する場合

ここではディスプレイ(DV17D5)がセットになった場合を例に説明します。

MA24V/M、MA20V/Mの場合は、③〜⑤の順番に接続してください。

MA18S/Mの場合は、①〜⑤の順番に接続してください。

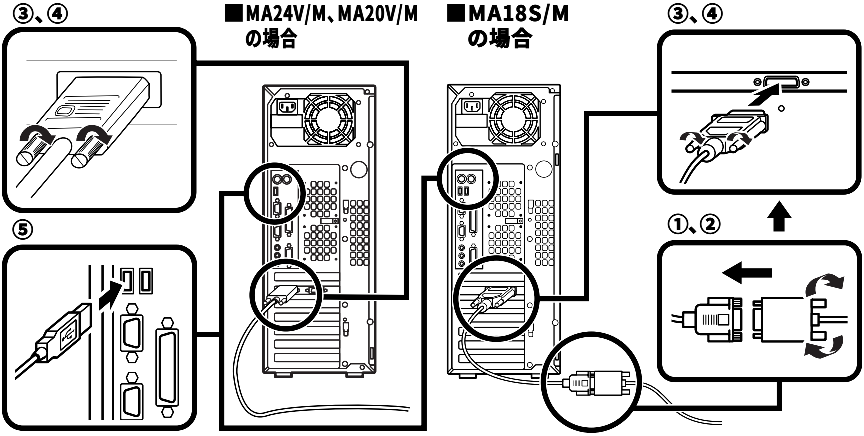
①ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネクタを、添付されているDVI-アナログ変換ケーブルのコネクタに接続する

②ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

③MA24V/M、MA20V/Mの場合は、ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネクタを、アイコン(□)とコネクタの形状を確認し、本体のアナログRGBコネクタに接続する
MA18S/Mの場合は、DVI-アナログ変換ケーブルのもう一方のコネクタをアイコン(□)とコネクタの形状を確認し、本体のデジタルRGBコネクタ(DVI-I)に接続する

④DVI-アナログ変換ケーブルのコネクタ、またはビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

⑤アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに、本体とアナログ液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する



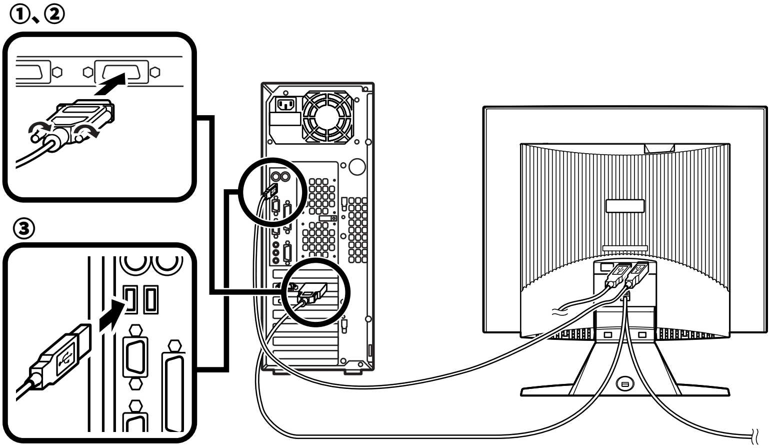
❷デジタル液晶ディスプレイを接続する場合

ここでは、ディスプレイ(F15R53-DV)がセットになった場合を例に説明します。

①MA24V/M、MA20V/Mの場合は、ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネクタを、刻印(DVI)とコネクタの形状を確認し、本体のRGBコネクタ(DVI-D)に接続する
MA18S/Mの場合は、ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネクタを、アイコン(□)とコネクタの形状を確認し、本体のRGBコネクタ(DVI-I)に接続する

②ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジでしっかり止める

③本体とデジタル液晶ディスプレイをUSB ケーブルで接続する



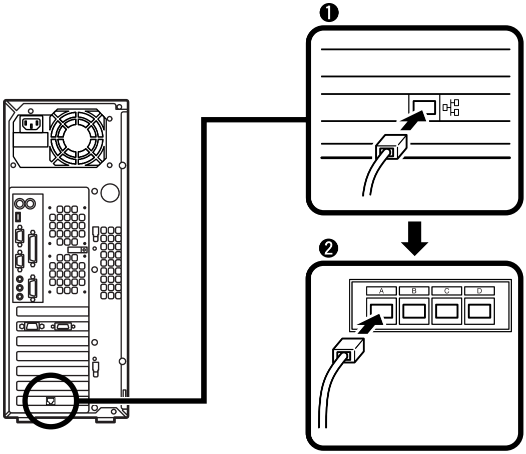
4. リンクケーブル(別売)を接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。
LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブル(別売)を使い、次の手順で接続します。

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

❶リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン( )に従って接続する

❷ マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコネクタを接続する



5. アース線、電源ケーブルを接続する

安全に関するご注意

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コンセントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店などにご相談ください。



●アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、火災の原因となります。



●アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。

◆アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があります。

◆アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑音が入る場合があります。

次のページのイラストを見て❶〜❸の順番に接続してください。

❶アース線を接続する

①本体のアース端子にアース線をネジ止めする

②コンセントのアース端子にアース線を接続する

❷ディスプレイの電源ケーブルを接続する

次のページのイラストはCRTディスプレイ（DV17D5）がセットになった場合です。ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

①ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

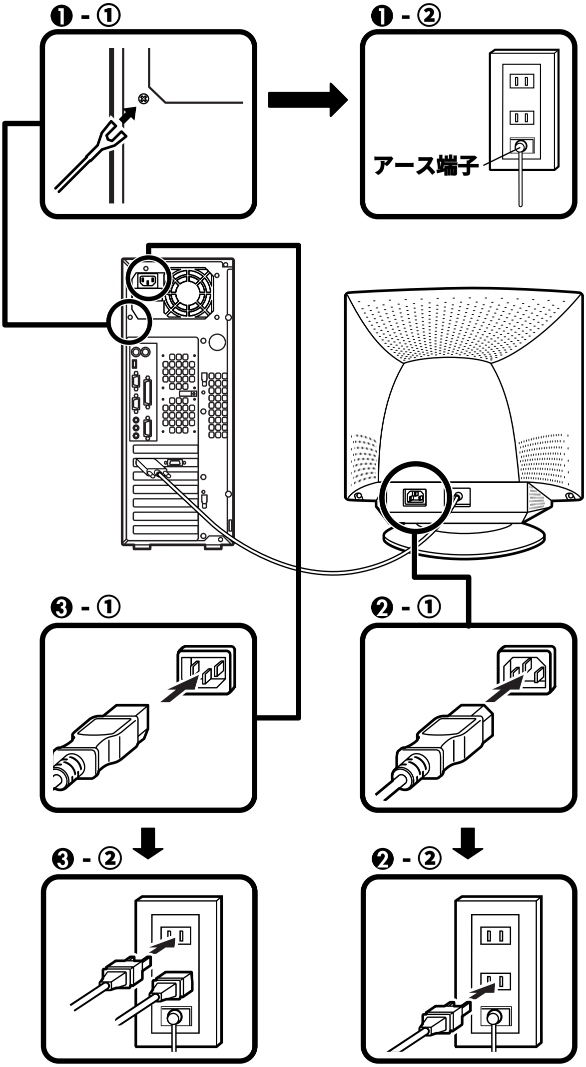
②電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

❸本体の電源ケーブルを接続する

①本体に電源ケーブルを接続する

②電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。（故障ではありません）



以上で添付品の接続は完了です。
次のページの「4 Windowsのセットアップ」へ進んでください。

4 Windowsのセットアップ

はじめて本機の電源を入れるときは、ご使用になるオペレーティングシステム(Windows XP、またはWindows 2000)を選択し、オペレーティングシステムのセットアップの作業が必要です。

セットアップをするときの注意

はじめて本機の電源を入れるときには、使用するオペレーティングシステム(Windows XP、またはWindows 2000)を選択することができますが、Windowsのセットアップ終了後にオペレーティングシステムを変更したい場合は、ライセンス取得のため別途オペレーティングシステムを購入していただく必要がありますのでご注意ください。

- **プリンタやメモリなど、周辺機器は接続しない**
  この作業が終わるまでは、プリンタや増設メモリなどの取り付けを絶対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒に購入した場合は、先に「4 Windowsのセットアップ」から「7 使用する環境の設定と上手な使い方」の作業を行った後、周辺機器に添付のマニュアルを読んで接続や取り付けを行ってください。
- **途中で電源を切らない**
  作業の途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源スイッチを操作したり電源ケーブルを引き抜いたりすると、故障の原因になります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアッププログラムは動作していることがあります。故障ではありませんので、慌てずに手順通り操作してください。

障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、P.42「セットアップ中のトラブル対策」をご覧ください。

セットアップを始める前の準備

Windowsセットアップ中に本機を使う人の名前を入力する必要があります。登録する名前を決めておいてください。

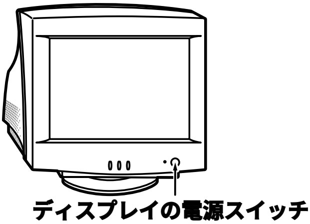
電源を入れる

必ず❶、❷の順番に従って、正しく電源を入れてください。

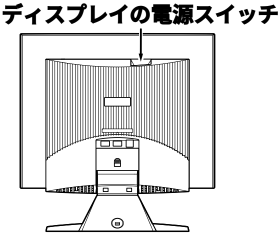
❶ディスプレイの電源を入れる

ディスプレイの電源スイッチの位置は、ディスプレイに添付のマニュアルを参照してください。

■ CRTディスプレイ(DV17D5)の場合

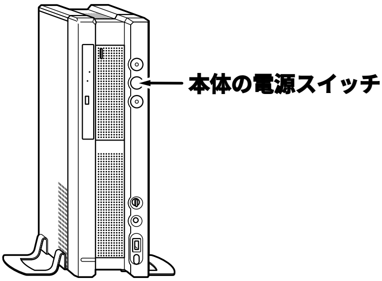


■ アナログ液晶ディスプレイ(F17R11)の場合

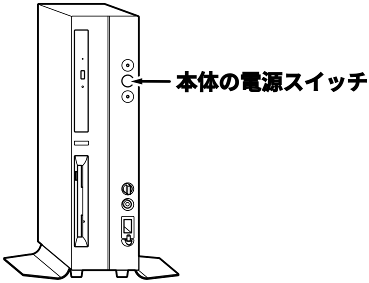


❷本体の電源を入れる

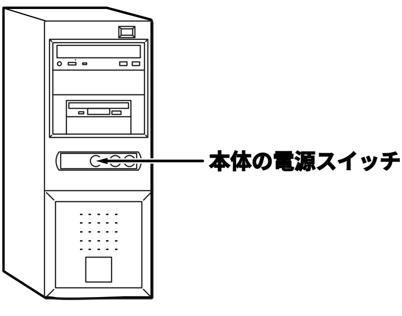
■ スリムタワー型の場合



■省スペース型の場合



■ ミニタワー型の場合



セットアップの作業手順

これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。

画面左上に「Starting Windows 98...」と表示されます。これは、オペレーティングシステムをセットアップするためにWindows 98の一部機能を使用しているためです。

❶ 電源ランプが点灯して、「オペレーティングシステムの選択」の画面が表示されたら、使用するオペレーティングシステムを選択して【Enter】を押す

❷ 使用するオペレーティングシステムを確認する画面が表示されたら、表示されている内容をよく確認して【F8】を押す

Ghostについては、「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」内の「Ghost.txt」をご覧ください。
以降は、使用するオペレーティングシステムに従って、「1.Windows XPのセットアップ」または、P.39「2.Windows 2000のセットアップ」に進んでください。

1. Windows XPのセットアップ

Windows XPのセットアップを開始します。

- 「Microsoft Windows へようこそ」の画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- 手順④～⑧の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❶「Microsoft Windows へようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❷「使用許諾契約」の画面を確認する

 をクリックするか、キーボードの【PageDown】を押すと、「契約書」の続きを読むことができます。

❸ 内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

(同意しない場合セットアップは続行できません)

❹「コンピュータに名前を付けてください」の画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック

❺「管理者パスワードを設定してください」の画面が表示されたら、管理者パスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック

❻「このコンピュータをドメインに参加させますか？」の画面が表示された場合は、「いいえ」、または「はい」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❼「インターネットに接続する方法を指定してください。」の画面が表示された場合は、「省略」ボタンをクリック

❽「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」の画面が表示されたら、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❾「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」の画面が表示されたら、ユーザ名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザ名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

❿「設定が完了しました」の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

Windows XPのセットアップが終了したら、P.41「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

2. Windows 2000のセットアップ

Windows 2000のセットアップを開始します。

❶「Windows 2000セットアップウィザードの開始」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❷「ライセンス契約」の画面が表示される

内容をよくご覧の上、次に進んでください。

①をクリックして続きを見る

②内容を確認し、「同意します」ボタンをクリック

（同意しない場合、セットアップは続行できません。）

③「次へ」ボタンをクリック

❸「ソフトウェアの個人用設定」の画面が表示されたら、名前と組織名を入力する

ここで登録した名前や会社名は、セットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。また、名前は半角英数字で入力してください。ご利用になるアプリケーションによっては、名前に全角文字が使われていると正常に動作しないものがあります。

①名前を入力

名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。

②組織名を入力する場合は、組織名の欄にマウスポインタをあわせてクリック

カーソルが点滅して組織名を入力できるようになります。名前と同じように組織名を入力します。

③「次へ」ボタンをクリック

❹「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」の画面が表示されたら、コンピュータ名および、パスワードを入力

①コンピュータ名を入力

コンピュータ名は後で変更できます。

設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

②パスワードを入力

パスワードは大文字、小文字を区別しています。パスワードは後で変更できます。ここで入力したパスワードは、絶対忘れないようにしてください。

③パスワードの確認入力の欄をクリックし、もう一度パスワードを入力

④「次へ」ボタンをクリック

❺「Windows 2000セットアップ」の画面が表示されたら、「再起動する」ボタンをクリック

自動的に再起動します。

❻再起動後、「ネットワーク識別ウィザードの開始」の画面が表示された場合は、「次へ」ボタンをクリック

❼「このコンピュータのユーザー」の画面が表示されたら、必要な項目を入力し、「次へ」ボタンをクリック

設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❽「ネットワーク識別ウィザードの終了」の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

手順❼で「ユーザーはこのコンピュータを利用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある」を選択した場合、「Windowsへのログオン」の画面が表示されます。
手順❹で設定したパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。
途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

> デスクトップ画面が表示される前に「システム設定の変更」の画面が表示される場合があります。その場合はデスクトップ画面が表示されるまで待ち、「Windows 2000の紹介」の画面の「終了」ボタンをクリックしてから、「システム設定の変更」の画面の「はい」ボタンをクリックして再起動してください。

Windows 2000のセットアップが終了したら、「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

電源を切る

次の手順で正しく電源を切ってください。

1. Windows XPの終了

❶「スタート」ボタンをクリックし、「終了オプション」をクリック

❷「電源を切る」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

❸ディスプレイの電源を切る

2. Windows 2000の終了

❶「スタート」ボタンをクリックし、「シャットダウン」をクリック

❷「シャットダウン」を選択し、「OK」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

❸ディスプレイの電源を切る

以上で、Windowsのセットアップは完了です。
P.43「5 お客様登録」へ進んでください。

セットアップ中のトラブル対策

電源スイッチを押しても電源が入らない

- **電源ケーブルの接続が不完全である事が考えられるので、一度電源ケーブルをコンセントから抜き、本体と電源ケーブルがしっかり接続されていることを確認してから、もう一度電源ケーブルをコンセントに差し込む**
  電源ケーブルを接続しなおしても電源が入らない場合は、本体の故障が考えられますので、ご購入元にご相談ください。

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

- **電源を入れて、表示される画面をチェックする**
  CHKDSKが実行され、ハードディスクに異常がないときは、セットアップを続行することができます。（CHKDSKは実行されない場合もあります。）
  セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。エラーメッセージが表示された場合は、システムを起動するためのファイルに何らかの損傷を受けた可能性があります。この場合、Windowsは起動しません。Windowsを再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。
  再セットアップについては、『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

セットアップの途中でパソコンが反応しない、またはエラーメッセージが表示された

- **パソコンが反応しなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、メッセージを書き留めた後、本機の電源スイッチを4秒以上押して、強制的に終了する**
  電源が切れた後、再度電源スイッチを入れ、上記の「・電源を入れて、表示される画面をチェックする」をご覧ください。

5 お客様登録

登録には、3種類の方法があります(登録料、年会費は無料です)。

- **インターネットによる登録**
  添付の『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧ください。
- **専用ハガキによる登録**
  添付の『お客様登録申込書』をご覧ください。
- **FAX用紙による登録**
  添付の『お客様登録申込書』をご覧ください。

以上でお客様登録は完了です。
次の「6 マニュアルの使用方法」へ進んでください。

6 マニュアルの使用方法

本機に添付または「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に格納されているマニュアルを紹介します。目的にあわせてお読みください。
また、マニュアル類はなくさないようにご注意ください。マニュアル類をなくした場合は『活用ガイド　ソフトウェア編』「トラブル解決Q&A」の「その他」、「アフターケアについて」をご覧ください。

マニュアルの使用方法

※印のマニュアルは、「Mate/Mate R電子マニュアル」として「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に入っています。「Mate/Mate R電子マニュアル」の使用方法については、P.46「電子マニュアルの使用方法」をご覧ください。

●『安全にお使いいただくために』
本機を安全にお使いいただくための情報を記載しています。使用する前に必ずお読みください。

●『Microsoft® Windows® XP Professional ファーストステップガイド/Microsoft® Windows® 2000 Professional クイックスタートガイド』
(Windows 2000の場合は、ヘルプの中にあるオンライン形式の『Microsoft Windows 2000 Professional ファーストステップガイド』でもご覧いただけます)
Windowsの全般的な基礎知識や基本的な操作方法を確認したいときにお読みください。

●『活用ガイド　再セットアップ編』
本機のシステムを再セットアップするときにお読みください。

●『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型、省スペース型、ミニタワー型、マイクロタワー型』(Windows XP Professional/Windows 2000 Professionalセレクタブルモデル)　※
本体の各部の名称と機能、システム設定(BIOS設定)、ATコマンドについて確認したいときにお読みください。

●『活用ガイド　ソフトウェア編』(Windows XP Professional/Windows 2000 Professionalセレクタブルモデル、Windows XP Home Editionインストールモデル)　※
アプリケーションの概要と削除/追加、他のOSをセットアップするときや、トラブルが起きたときにお読みください。

●『ハードウェア拡張ガイド　スリムタワー型、省スペース型、ミニタワー型、マイクロタワー型』　※
本体の内部構造を知りたいときや、機能を拡張する機器の取り付けを行うときにお読みください。

●ディスプレイのユーザーズマニュアル

・液晶ディスプレイまたはCRTディスプレイがセットになったモデルの場合は、ディスプレイに添付されています(P.2「1 添付品の確認」をご覧ください)。ご利用の際に、必ずお読みください。
・本体とディスプレイがセットになったモデルに添付のマニュアルには、Windows XP、およびWindows 2000の設定方法が記載されていない場合があります。この場合は、Windows 98と同様の設定方法で行ってください。
また、液晶ディスプレイのUSBハブが正常に接続されていることの確認については、下記の手順に従ってください。

■Windows XPの場合

①「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」をクリック

②「システムのタスク」の「システム情報を表示する」をクリック

③「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリック

④「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」をダブルクリック

「NEC USB Hub」が表示されていることを確認します。
NEC製USB接続キーボード(バスパワードハブ付き)を利用されている場合は「NEC USB Hub」が2つ表示されますが、問題ありません。

■Windows 2000の場合

①「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

②「システム」をダブルクリック

③「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリック

④「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」をダブルクリック

「NEC USB Hub」が表示されていることを確認します。
NEC製USB接続キーボード(バスパワードハブ付き)を利用されている場合は「NEC USB Hub」が2つ表示されますが、問題ありません。

●選択アプリケーションのユーザーズマニュアル
モデルによって、Office XP Personal、Office XP Professionalなどのマニュアルが添付されています(P.2「1 添付品の確認」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

●『NEC PCあんしんサポートガイド』
パソコンに関する相談窓口、受講施設、故障時のサービス網やNECのパソコン関連総合サイト「121ware.com」について知りたいときにお読みください。

Microsoft関連製品の情報について

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用にMicrosoft関連商品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。
http://www.microsoft.com/japan/info/press/

電子マニュアルの使用方法

電子マニュアルを使用する場合は、次の手順で起動してご覧ください。

■Windows XPの場合

❶CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、またはCD-R/RW with DVD-ROMドライブに、本機に添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」をセットする

❷「スタート」ボタンをクリックし、「マイコンピュータ」をクリック

❸CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリック

❹「_manual」フォルダをダブルクリックし、「index」ファイルをダブルクリック

「Mate/Mate R電子マニュアル」が表示されます。

■Windows 2000の場合

❶CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、またはCD-R/RW with DVD-ROMドライブに、本機に添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」をセットする

❷デスクトップ画面の「マイコンピュータ」をダブルクリックし、CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリック

❸「_manual」フォルダをダブルクリックし、「index」ファイルをダブルクリック

「Mate/Mate R電子マニュアル」が表示されます。

PDF形式のマニュアル(ファイル)をご覧いただくときの補足事項

あらかじめ、本機にAcrobat Reader 5.0をインストールしておく必要があります。詳しくはMate/Mate R電子マニュアル『活用ガイド ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加」「Acrobat Reader 5.0」をご覧ください。

メモ

- 必要に応じて「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用ください。
  「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用の際、フォルダ名・ファイル名などは変更しないでください。コピー先のフォルダ名はすべて英数字の半角文字である必要があります。それ以外の文字(「デスクトップ」などの日本語)のフォルダ名にコピーすると起動することができなくなります。
- Windowsが起動しなくなったなどのトラブルが発生した場合は、電子マニュアルをご覧になることができません。そのため、あらかじめ「トラブル解決Q&A」を印刷しておくと便利です。
- NECのパソコン関連総合サイト「121ware.com」では、NEC製の電子マニュアルをダウンロードできるサービスを行っております。

  http://121ware.com/

  「レスキュー」→「商品情報」にある、電子マニュアルビューアをご覧ください。

  また、NEC PCマニュアルセンターでは、マニュアルの販売を行っています。

  http://pcm.mepros.com/

以上でマニュアルの使用方法は完了です。
次のページの「7 使用する環境の設定と上手な使い方」へ進んでください。

7 使用する環境の設定と上手な使い方

本機を使用する環境や運用・管理する上で便利な機能を設定します。機能の詳細や設定方法については、『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型、省スペース型、ミニタワー型、マイクロタワー型』および『活用ガイド　ソフトウェア編』をご覧ください。

1. 最新の情報を読む

補足説明

補足説明には、本製品のご利用にあたって注意していただきたいことや、マニュアルには記載されていない最新の情報について説明していますので、削除しないでください。以下の方法でお読みください。

■Windows XPの場合

- 「Mate/Mate R電子マニュアル」を起動して「補足説明」をクリック
- 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「補足説明」をクリック

■Windows 2000の場合

- 「Mate/Mate R電子マニュアル」を起動して、「補足説明」をクリック
- 「スタート」ボタン→「プログラム」→「補足説明」をクリック

2. Windows 2000のService Pack

Service Pack 2について

Windows 2000をお使いの場合、本機にはService Pack 2がインストールされています。Service Pack 2を削除する場合は、必ず『活用ガイド　ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加（Windows 2000 Professionalの場合）」の「「Service Pack」について」をご覧になり、削除してください。削除時の注意および削除方法が記載されています。

3. アナログ液晶ディスプレイの調整

液晶ディスプレイ調整ツール

文字がにじむときや縦縞状のノイズなどがあるときは、液晶ディスプレイの調整が必要です。本機には液晶ディスプレイの画面を調整するアプリケーション（液晶ディスプレイ調整ツール）が「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に添付されています。液晶ディスプレイ調整ツールの追加は、『活用ガイド　ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加」をご覧ください。追加が終わったら、アナログ液晶ディスプレイに添付のマニュアルを見ながら調整を行ってください。

4. Securityの設定

スーパバイザ/ユーザパスワード、ハードディスクパスワード、筐体ロックなど

本機には、本機の不正使用を防止する機能(スーパバイザ/ユーザパスワード)、ハードディスクドライブが盗難にあってもデータの漏洩を防ぐ機能(ハードディスクパスワード)、内蔵部品(メモリやハードディスクドライブ)の盗難を防止するため、錠をかける機能(筐体ロック)があります。この他にも便利な機能があります。詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型、省スペース型、ミニタワー型、マイクロタワー型』「PART1　本体の構成各部」の「セキュリティ/マネジメント機能」をご覧ください。

5. データのバックアップの設定

❶Masty Data Backup

ハードディスクドライブが故障すると、データが一瞬にして使えなくなってしまい、復帰できない可能性があります。二度と同じものを作れないような大切なデータは、保護するためこまめにバックアップをとるようおすすめします。
本機には、ハードディスクドライブのデータをバックアップするアプリケーション(Masty Data Backup)が「アプリケーションCD- ROM/マニュアルCD- ROM」に添付されています。(SmallOffice向けモデル(MA12H/L)には添付されていません。)
詳しくは『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型、省スペース型、ミニタワー型、マイクロタワー型』「PART1　本体の構成各部」の「ハードディスクドライブ」、『活用ガイド　ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加」をご覧ください。

❷StandbyDisk

2台のハードディスクを使用し、一方のハードディスクドライブの内容をもう一方のハードディスクドライブに定期的(日/週/月単位等)に、バックアップできます。
このため、運用中のハードディスクドライブの障害が起きたときに、もう一方のハードディスクから起動し、バックアップした時点の環境に戻すことができます。
StandbyDiskは、フリーセレクションの「増設ハードディスク」にて「StandbyDiskあり」を選択した場合のみ添付されています。
詳しくは『活用ガイド　ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加」の「StandbyDisk」をご覧ください。

❸FastCheckモニタリングユーティリティ

FastCheckモニタリングユーティリティは、RAIDシステムを管理するユーティリティです。RAIDシステムの全ての操作ステータスを監視することができます。データの変更や保存の際に、搭載した２台のハードディスクドライブにリアルタイムでデータの書き換えを実行し、大切なデータを二重化して保存します。万一１台目のハードディスクドライブでディスククラッシュなどのハードウェア障害が発生しても、もう一方のハードディスクドライブで継続動作が可能です。
FastCheckモニタリングユーティリティは、P.9❷-⑫フリーセレクションの「増設ハードディスク」にて「RAID1」を選択した場合のみインストールされています。
詳しくは「Mate/Mate R 電子マニュアル」「「FastCheckモニタリングユーティリティ」について」をご覧ください。

❹BIOSセットアップメニュー

「System backup reminder」を設定すると、本機起動時にバックアップを行うように警告を定期的（毎日、毎週、毎月）に出すことができます。
詳しくは『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型、省スペース型、ミニタワー型、マイクロタワー型』「PART2　システム設定」の「Securityの設定」をご覧ください。

6. 利用する添付アプリケーションの設定

Norton AntiVirusなど

本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーション（Norton AntiVirus）が「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に添付されています。

本機に添付されているNorton AntiVirusでは、新種のウイルスを検出できない場合があります。新種ウイルスに対応するため、ウイルス定義ファイルを更新する必要があります。

この他にも便利なアプリケーションが添付されています。
詳しくは『活用ガイド　ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加」をご覧ください。

7. 運用・管理するための添付アプリケーションの設定

Intel® LANDesk® Client Manager 6（with NEC Extensions）、CyberAccess

本機にはパソコンの情報を管理する機能（Intel® LANDesk® Client Manager 6（with NEC Extensions））、システム管理者向けと一般ユーザー向けの利用環境を設定する機能（CyberAccess）を提供するアプリケーションが「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に添付されています。（Intel® LANDesk® Client Manager 6（with NEC Extensions）は、SmallOffice向けモデル（MA12H/L）には添付されていません。）
詳しくは『活用ガイド　ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加」をご覧ください。

8. 上手な使い方

❶トラブルを防止するために

本機のトラブルを予防し、効率よくマネジメントするためには、電源の入れ方/切り方や、エラーチェックなどいくつかのポイントがあります。詳しくは、『活用ガイド　ソフトウェア編』「トラブル解決Q&A」の「トラブルを予防するには…」をご覧ください。

❷本機のお手入れ

本機を安全に、快適に使用するためには、電源ケーブルやマウスなど定期的にお手入れが必要です。詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型、省スペース型、ミニタワー型、マイクロタワー型』「PART4　付録」の「本機のお手入れ」をご覧ください。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows XPまたはWindows 2000および本機に添付のCD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
(10) 本書に記載しているWebサイトは、2002年4月現在のものです。

初版 2002年 5月

853-810067-335-A
